

2018年10月29日

「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への支持について

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：越智 仁、以下「当社」）は、このたび、金融安定理事会(以下、「FSB」)により設置された気候関連財務情報開示タスクフォース(以下、「TCFD」)の最終提言への支持を決定したので、お知らせいたします。

FSBは、世界主要国・地域の中央銀行、財務省、金融規制当局などの代表が参加する国際機関です。TCFDは気候関連のリスクと機会が財務にもたらす影響に関する、企業による投資家への適切な開示を促すことを目的として、2017年6月に自主的な情報開示のあり方に関する提言を公表しました。

(参考：TCFD ウェブサイト <https://www.fsb-tcf.org/tcf-supporters/>)

当社グループは、KAITEKI<sup>(※)</sup>実現をビジョンに据え、環境・社会課題の解決への貢献をめざし、環境負荷軽減や省エネルギー活動の推進、再生可能エネルギー利用の推進、GHG排出削減に貢献する製品群の拡充に取り組んできました。

今後TCFDの最終提言を踏まえ、これらの取り組みの充実化とともに、関連する情報開示を拡充し、企業価値向上に努めてまいります。

(※) 当社は、KAITEKIを「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」と定義しています。

以上

本件のお問合せ先 株三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 電話：03-6748-7140
---